

## 高久駅新築落成の祝歌

大倉キミ 作詞

白石貞男 作曲

遙かに仰ぐ那須の峰

白さぎ草の咲く野辺に

うぶ声あげし高久駅

希望のシンボル高久駅

水清らかなりんどう湖

澄んだ青空雲白く

きよらに立てり高久駅

文化のシンボル高久駅

ゴルフの緑あざやかに

小鳥の歌もこだまして

光り輝く高久駅

平和のシンボル高久駅

## 「高久駅の歌」の秘話

「高久駅の歌」をご存知ですか。駅の待合室には「高久駅新築落成の祝歌」が受け継がれ掲げられています。歌の作詞をしたのは駅前で理髪店を営んでいた大倉キミさんで、駅昇格をお祝いするため、詞を一晚で作成したそうです。作曲したのは、旧田中小学校で当時校長だった白石貞男先生で、理髪店の常連さんでした。大倉さんと白石先生は、近くのゴルフクラブの祝歌や旧田中小学校の校歌も手掛けた作詞作曲の名コンビで、地域を愛する二人によって、歌の完成ができませんでした。昭和40年10月21日に行われた新駅舎の完工式典では、旧黒田原中学校の28名のブラスバンドの伴奏と、旧田中小学校の児童120名のコーラスに合わせて「高久駅の歌」が歌われました。



▲当時の新聞記事が掲げられています

## インタビュー



大倉達男さん

キミさんの息子さんで、現在も高久駅前にお住まい。

キミさんは詩や歌を作るのが好きで、よく新聞に詩を投稿していたそうです。

「高久駅の歌」の存在を知ったのはキミさんが亡くなった後のこと。



平山徳治さん

昭和39年から昭和55年まで高久駅に勤務し、助役を務めました。

団地（現在の高久団地）を作る造成計画が持ち上がったのも駅昇格のため、と当時を振り返りました。

## 「高久駅の歌」復活プロジェクト

たくさんの方々の思いが詰まった地域の駅が、より愛着のある駅になるよう「高久駅の歌」を復活させるプロジェクトが始まっています。

大倉さんをはじめ地域の方々に当時の様子を聞きながら、53年の時を経て、その音源を起す作業を「地域おこし協力隊」の石田多朗隊員が進めています。

左のQRコードから作成中の曲を視聴することができます。

3月には歌を吹き込み、再び高久駅の歌を現代に甦らせることができそうです。お楽しみに。



▲復刻作業を進める地域おこし協力隊の石田隊員

▼問合せ ふるさと定住課  
公共交通係 ☎ 726955